

会員へのお知らせトピックス

※詳細は本会ホームページをご覧ください。

第25回（平成28年度助成開始）鉄鋼研究振興助成（含む石原・浅田研究助成）募集案内

申請期限：7月22日（水） <http://www.isij.or.jp/Josei/shinkou2015.htm>

日本鉄鋼協会研究会Ⅰ 平成28年度募集案内（公募）

申請期限：8月31日（月） <https://www.isij.or.jp/subcommittee/research-society/>

日本鉄鋼協会研究会Ⅱ 平成28年度募集案内（公募）

申請期限：8月31日（月） <https://www.isij.or.jp/subcommittee/research-society/>

平成28年度「鉄鋼協会研究プロジェクト（旧：産発プロジェクト展開鉄鋼研究）」募集案内

申請期限：8月31日（月） <https://www.isij.or.jp/subcommittee/researchproject/>

材料の組織と特性部会 第4回鉄鋼科学セミナー開催案内

8月31日（月）10：00～17：30、於：フクラシア品川（高輪口） <https://www.isij.or.jp/muh3h6a3t>

評価・分析・解析部会「バイオフィウリング、バイオフィルム評価分析解析研究」フォーラム平成27年度第1回講演会

9月1日（火）14：30～17：00、於：鈴鹿工業高等専門学校 マルチメディア棟 1F 視聴覚室、申込締切：7月31日

<https://www.isij.or.jp/mu3xmidv9>

鉄鋼工学セミナー「材質制御専科」平成27年度受講案内

12月7日（月）13：00～8日（火）12：00、於：日本鉄鋼協会 第1・2会議室、申込締切：11月9日

<https://www.isij.or.jp/mucf70fpe>

行事等予定	345頁
次号目次案内	350頁
会員欄（入会者・死亡退会者一覧）	351頁
平成26年度事業報告・収支決算および平成27年度事業計画・収支予算	352頁
ブックレビュー	343頁

行事等予定

太字は本会主催の行事。国際会議で○は協会にてサーキュラー等入手できます。

開催期日	行事(開催地/詳細掲載号および頁)	主催者	問合せ・連絡先
2015年7月			
2日	第170回秋季講演大会一般講演・予告セッション・共同セッション・学生ポスターセッション申込締切(5号210頁)	日本鉄鋼協会	学術企画グループ Tel. 03-3669-5932
2, 3日	鉄鋼工学セミナー「凝固専科」(神奈川)	日本鉄鋼協会	新日鐵住金(株) 高平信幸 Tel. 0439-50-2888 takahira.52f.nobuyuki@jp.nssmc.com
2, 3日	安全工学シンポジウム2015	日本学術会議 (工学委員会)	土木学会 Tel. 03-3355-3559
2, 3日	第46回トライボロジー入門講座(東京)	日本トライボロジー学会	井上 滉 Tel. 03-3434-1926 jast@tribology.jp http://www.tribology.jp/conference/nyumon/fso4p10000037af.html
3日	第95回シンポジウム「電子顕微鏡による材料研究(Ⅱ)～ミクロ組織観察の現状～(東京)	軽金属学会	Tel. 03-3538-0232 jilm1951@jilm.or.jp http://www.jilm.or.jp/society/
4～6日	スケジューリング国際シンポジウム2015(兵庫)	スケジューリング学会	神戸大学 貝原俊也 Tel. 078-803-6086 kaihara@kobe-u.ac.jp
6日	第62回塑性加工技術フォーラム(千葉)	日本塑性加工学会	Tel. 03-3435-8301 jstp@jstp.or.jp
8～10日	第52回アイソトープ・放射線研究発表会(東京)	日本アイソトープ協会	学術振興部学術・出版課 須貝理央 Tel. 03-5395-8081 gakujuetsu@jrias.or.jp http://www.jrias.or.jp/
8～10日	第25回環境工学総合シンポジウム2015(東京)	日本機械学会 環境工学部門	担当職員 村山ゆかり Tel. 03-5360-3506 murayama@jsme.or.jp http://www.env-jsme.com/
9, 10日	第35回防錆防食技術発表大会(東京)	日本防錆技術協会	Tel. 03-3434-0451 jacc@mbf.sphere.ne.jp
9, 10日	第56回塗料入門講座(大阪)	色材協会	事務局 Tel. 03-3443-2811 seminar@jscm.or.jp http://www.shikizai.org/
9, 10日	HPI技術セミナー「圧力設備の材料、設計、施行、維持管理の基礎」(東京)	日本高圧力技術協会	Tel. 03-3255-3486 tanaka@hpij.org http://www.hpij.org/mum05aspu-178/#
13～15日	TUBE&PIPE OSAKA 2015(大阪)	日本塑性加工学会	徳島大学大学院 長町拓夫 准教授 Tel. 088-656-9187 rollform@jstp.or.jp
13～15日	日本結晶学会講習会「粉末X線解析の実際」(東京)	日本結晶学会	7月講習会ヘルプデスク Tel. 03-3362-9743 crsj-xray@bunken.co.jp http://www.crsj.jp/news-j/150713PowderCourse.html
13～15日	Iron Ore 2015(Perth, Australia)	AusIMM, CSIRO	Cassandra Benn cbenn@ausimm.com.au http://www.ironore2015.ausimm.com.au/

開催期日	行事(開催地/詳細掲載号および頁)	主催者	問合せ・連絡先
14~16日	NIMS Conference 2015(茨城)	物質・材料研究機構	内山 Tel. 029-851-3354
15~17日	第34回電子材料シンポジウム(EMS-34)(滋賀)	電子材料シンポジウム運営委員会・実行委員会	産業技術総合研究所 西奈慈郎 Tel. 029-861-5042 jiro.nishinaga@aist.go.jp http://ems.jpn.org/
16日	第67回技術セミナー 主題:腐食を理解するための電気化学入門(東京)	腐食防食学会	事務局 Tel. 03-3815-1161 ysm.hng-113-0033@jcorr.or.jp http://www.jcorr.or.jp/sonota/pg186.html
16, 17日	第49回X線材料強度に関するシンポジウム(大阪)	日本材料学会	船越 Tel. 075-761-5321 jimuj@jsms.jp http://www.jsms.jp/kaikoku/49xsymboshu.htm
17日	レアメタル研究会(東京)	東京大学 生産技術研究所	東京大学生産技術研究所 岡部 徹 研究室 学術支援専門職員 宮崎智子 Tel. 03-5452-6314 tmiya@iis.u-tokyo.ac.jp http://www.okabe.iis.u-tokyo.ac.jp/japanese/index_j.html
17日	第32回軽金属セミナー「アルミニウム合金の状態図と組織—入門編」(大阪)	軽金属学会	Tel. 03-3538-0232 jilm1951@jilm.or.jp http://www.jilm.or.jp/society/
17日	平成27年度日本鉄鋼協会・日本金属学会両北海道支部合同サマーセッション(北海道)	日本鉄鋼協会・ 日本金属学会 両北海道支部	北海道支部事務局 田中重雄 Tel. 0143-47-2651 mu_tekkyo@jp.nssmc.com
21日	第33回軽金属セミナー「アルミニウム合金の時効析出 —中級編—」(東京)	軽金属学会	Tel. 03-3538-0232 jilm1951@jilm.or.jp http://www.jilm.or.jp/society/
22日	第25回(平成28年度助成開始)鉄鋼研究振興助成(含む石原・浅田研究助成)募集締切	日本鉄鋼協会	学術企画グループ Tel. 03-3669-5932
22~24日	メンテナンス・レジリエンスTOKYO2015(東京)	メンテナンス・レジリエンスTOKYO2015	日本能率協会 Tel. 03-3434-1988 mente@jma.or.jp http://www.jma.or.jp/mente/
22~24日	生産と設備TOKYO2015(東京)	生産と設備TOKYO2015	日本能率協会 Tel. 03-3434-1988 seisan@jma.or.jp http://www.jma.or.jp/seisan/
25日	「鉄の技術と歴史」研究フォーラム第20回公開研究発表会(東京)	日本鉄鋼協会	幹事 佐藤昭昭 Fax. 047-443-9208 kera_k_sato@hb.tp1.jp
26~31日	第41回鉄鋼工学セミナー(宮城)	日本鉄鋼協会	育成グループ Tel. 03-3669-5933
27, 28日	Tailings and Mine Waste for the 21st Century (Sydney, Australia)	AusIMM, UNSW	Lucy Brown lbrown@ausimm.com.au http://www.tailingsandminewaste2015.ausimm.com.au/
28, 29日	第209回塑性加工技術セミナー(愛知)	日本塑性加工学会	Tel. 03-3435-8301 jstp@jstp.or.jp
2015年8月			
3日	鉄鋼を知ろう!「最先端鉄鋼体験セミナー」(千葉 申込締切7月3日)	日本鉄鋼協会	育成グループ Tel. 03-3669-5933
3, 4日	第24回日本エネルギー学会大会(北海道)	日本エネルギー学会	「大会」係 Tel. 03-3834-6456 taikai24@jie.or.jp http://www.jie.or.jp/2015/taikai/index.html
4日	第314回塑性加工シンポジウム(東京)	日本塑性加工学会	Tel. 03-3435-8301 jstp@jstp.or.jp
4~6日	日本混相流学会混相流シンポジウム2015(高知)	日本混相流学会	事務局 Tel. 06-6466-1588 office@jsmf.gr.jp http://www.jsmf.gr.jp/index.shtml
6, 7日	第25回海洋工学シンポジウム(東京)	日本船舶海洋工学会、 日本海洋工学会	日本大学 居駒知樹 Tel. 0417-469-5482 ikoma.tomoki@nihon-u.ac.jp http://www.oesymposium.com/
10日	第210回塑性加工技術セミナー(長野)	日本塑性加工学会	Tel. 03-3435-8301 jstp@jstp.or.jp
16~20日	The 13th World Conference on Titanium (Ti-2015) チタン世界会議2015(California, USA)	TMS	チタン世界会議日本代表国際組織委員 東北大学 新家光雄 niinomi@imr.tohoku.ac.jp http://www.tms.org/meetings/2015/Ti2015/home.aspx#.VE85Emfircs
19, 20日	第7回役に立つ真空技術入門講座(大阪)	日本真空学会 関西支部	深沢博之 Tel. 06-6397-2279 shinku-kansai@optomater.kuee.kyoto-u.ac.jp http://www.vacuum-jp.org/KANSAI/kansaihome.html(準備中)
20, 21日	サマースクール2015年in東京「非線形有限要素法による弾塑性解析の理論と実践」(東京)	日本計算工学会	東北大学 山川優樹 Tel. 022-795-7417 nonlinearfem@msd.civil.tohoku.ac.jp http://msd.civil.tohoku.ac.jp/nonlinearfem2015/
25~28日	Dynamics and Design Conference 2015(青森)	日本機械学会	大竹英雄 Tel. 03-5360-3505 otake@jsme.or.jp http://www.jsme.or.jp/conference/dmconf15/
27日	第5回講習会「X線反射率による薄膜・多層膜の解析」(茨城)	応用物理学学会	埋もれた界面のX線中性子解析研究会 桜井健次 Tel. 029-859-2821 SAKURAIKenji@nims.go.jp http://www.nims.go.jp/xray/ref/
28日	鉄鋼を知ろう!「最先端鉄鋼体験セミナー」(兵庫 申込締切7月28日)	日本鉄鋼協会	育成グループ Tel. 03-3669-5933
28日	第211回塑性加工技術セミナー(大阪)	日本塑性加工学会	Tel. 03-3435-8301 jstp@jstp.or.jp
28, 29日	日本実験力学学会2015年度年次講演会(新潟)	日本実験力学学会	新潟大学工学部機械システム工学科 田邊裕治 Tel. 025-262-6806 y.tanabe@eng.niigata-u.ac.jp http://jsem.jp/

開催期日	行事(開催地/詳細掲載号および頁)	主催者	問合せ・連絡先
31日	平成27年度 高温プロセス部会 博士後期課程学生を対象とした国際会議等参加費支援 申込締切	日本鉄鋼協会	学術企画グループ Tel. 03-3669-5932
31日	2015年度日本金属学会関東支部講習会(東京)	日本金属学会 関東支部	事務局 多賀三千代 Tel. 03-5734-3136 jim-kanto@mtl.titech.ac.jp http://jim.or.jp/EVENTS/branch/shibu-index.html
31日	日本鉄鋼協会 研究会Ⅰ、研究会Ⅱ、鉄鋼協会研究プロジェクト(旧:産発プロジェクト展開鉄鋼研究) 平成28年度募集締切	日本鉄鋼協会	Ⅰ:学術企画グループ Tel. 03-3669-5932 Ⅱ:技術企画グループ Tel. 03-3669-5932
31日	材料の組織と特性部会 第4回鉄鋼科学セミナー(東京)	日本鉄鋼協会	九州大学 田中玄徳子 Tel. 092-802-3302 tanaka.noriko.597@m.kyushu-u.ac.jp
31,1日	鉄鋼工学セミナー「精錬プロセス解析専科」(宮城 申込締切8月7日)	日本鉄鋼協会	新日鐵住金(株) 田村鉄平 Tel. 0479-46-5510 Fax. 0479-46-5142 tamura.x74.teppeij@jp.nssmc.com
2015年9月			
1日	評価・分析・解析部会「バイオフィウリング、バイオフィルム評価分析解析研究」フォーラム平成27年度第1回講演会(三重 申込締切7月31日)	日本鉄鋼協会	鈴鹿工業高等専門学校 平井信充 hirai@chem.suzuka-ct.ac.jp
1,2日	第31回分析電子顕微鏡討論会(千葉)	日本顕微鏡 学会分析電子 顕微鏡分科会	九州大学 村上恭和 Tel. 092-802-3497 murakami@nucl.kyushu-u.ac.jp http://eels.kuicr.kyoto-u.ac.jp/bunseki2015/
1~3日	第9回 プラズマエレクトロニクスインキュベーションホール(静岡)	応用物理学会 プラズマエレクト ロニクス分科会	静岡大学 松井 信 Tel. 053-478-1064 matsui.makoto@shizuoka.ac.jp http://annex.jsap.or.jp/plasma/
1~4日	第55回(2015年度)真空夏季大学(静岡)	日本真空学会	Tel. 03-3431-4395 ofc-vs@vacuum-jp.org http://www.vacuum-jp.org/
2日	鉄鋼を知ろう!「最先端鉄鋼体験セミナー」(愛知 申込締切8月3日)	日本鉄鋼協会	育成グループ Tel. 03-3669-5933
2~4日	平成27年度工学教育研究講演会(福岡)	日本工学教育 協会、九州工 学教育協会	日本工学教育協会 川上理英 Tel. 03-5442-1021 kawakami@jsee.or.jp https://www.jsee.or.jp/taikai/kenkyu/
3,4日	鉄鋼工学セミナー「強化機構専科」(滋賀 申込締切8月5日)	日本鉄鋼協会	JFEスチール(株) 吉田裕美 Tel. 084-945-4163 Fax. 084-945-4059 hirom-yoshida@jfe-steel.co.jp
3,4日	鉄鋼工学セミナー「水素脆化専科」(東京 申込締切8月5日)	日本鉄鋼協会	JFEスチール(株) 高木周作 Tel. 044-322-6050 Fax. 044-322-6518 s-takagi@jfe-steel.co.jp
3,4日	Challenges and Transformative Solutions to Sustainable Steelmaking and Casting-for Environment-Friendly Metallurgical Innovation- (CTSSC-EMI Symposium) (東京)	日本鉄鋼協会 東北大学	東北大学 柴田浩幸 shibata@tagen.tohoku.ac.jp
7,8日	MetPlant 2015(Perth, Australia)	AusIMM	Lucy Brown lbrown@ausimm.com.au http://www.metplant2015.ausimm.com.au/
7~11日	12th International Conference on Superplasticity in Advanced Materials (ICSAM) 2015 (東京)	ICSAM2015 実行委員会	茨城大学 伊藤吾朗 Tel. 0294-38-5023 gitoh@mx.ibaraki.ac.jp http://icsam2015.jp
8~10日	9th International Conference on Clean Steel (Clean Steel 9) (Budapest, Hungary)	Hungarian Mining and Metallurgical Society (OMBKE)	MVAE CONFERENCE OFFICE info@clensteel9.com www.cleansteel9.com
8~10日	資源・素材2015(松山) (愛媛)	資源・素材学会	尾野 Tel. 03-3403-1776 info@mmij.or.jp http://www.mmij.or.jp/events/desc.cpx?event_id=1107
9日	鉄鋼を知ろう!「最先端鉄鋼体験セミナー」(北海道 申込締切8月10日)	日本鉄鋼協会	育成グループ Tel. 03-3669-5933
9,10日	第43回日本ガスタービン学会定期講演会(鳥取)	日本ガス タービン学会	Tel. 03-3365-0095 gtsj-office@gtsj.org http://www.gtsj.org/html_calender/141105-teikoyokoku.html
10,11日	第32回センシングフォーラム 計測部門大会(大阪)	計測自動 制御学会	近畿大学 篠原寿広 Tel. 0736-77-0345 内4211 sinohara@info.waka.kindai.ac.jp http://www.sice.or.jp/s_forum/s_forum_sf.html
11日	サマースクール2015年in東京「非線形有限要素法による弾塑性解析の理論と実践」(東京)	日本計算工学会	東北大学 山川優樹 Tel. 022-795-7417 nonlinearfem@msd.civil.tohoku.ac.jp http://msd.civil.tohoku.ac.jp/nonlinearfem2015/
11日	第315回塑性加工シンポジウム(愛知)	日本塑性加工学会	Tel. 03-3435-8301 jstp@jstp.or.jp
13,14日	SPring-8シンポジウム2015(福岡)	SPringユーザー 共同体 (SPRUC)、理化学研究所、高輝度 光科学研究センター、九州大学	事務局 Tel. 0791-58-0949 sp8sympo2015@spring8.or.jp http://www.spring8.or.jp/ja/science/meetings/2015/sp8sympo2015/
16~18日	第170回秋季講演大会(九州 5号210頁)	日本鉄鋼協会	学術企画グループ Tel. 03-3669-5932
16~18日	セラミックス&ガラス技術展2015(東京)	日本 セラミックス 協会 他	フジサンケイ ビジネスアイ 中村理香 Tel. 03-3273-6180 r.nakamura@sankei.co.jp http://www.cgt-expo.jp/

開催期日	行事(開催地/詳細掲載号および頁)	主催者	問合せ・連絡先
21~23日	第20回電磁非破壊評価国際ワークショップ(宮城)	ENDE2015 実行委員会	東北大学 遊佐訓孝 Tel. 022-795-6319 ende2015@karma.qse.tohoku.ac.jp http://afre.qse.tohoku.ac.jp/ende2015/index.htm
27~30日	平成27年度 修士学生向け「鉄鋼工学概論セミナー」 (大阪 申込締切6月30日)	日本鉄鋼協会	育成グループ Tel. 03-3669-5933
30日	「鉄と鋼」第102巻第6号特集号「鋼脆性破壊の微視的機構と靱性のミクロ組織依存性」原稿募集締切	日本鉄鋼協会	東京大学 粟飯原周二 Tel. 03-5841-6505 aihara@fract.t.u-tokyo.ac.jp
2015年10月			
2, 8, 9日	平成27年度教育講座「塑性力学の基礎」コース(東京)	神奈川科学技術 アカデミー	教育研修グループ Tel. 044-819-2033 ed@newkast.or.jp http://www.newkast.or.jp/kyouiku/edu_h27/ed27_seminar_05.html
5, 6日	標準化と品質管理全国大会2015(東京)	日本規格協会	標準化と品質管理全国大会2015 事務局 Tel. 03-4231-8502 sqtaikai@jsa.or.jp http://www.jsa.or.jp/info_detail/zenkoku2015.html
5~8日	○Asia Steel International Conference 2015 (Asia Steel 2015) (横浜)	日本鉄鋼協会	asiasteel2015@issjp.com http://www.asiasteel2015.com/
12~16日	ICRP-9/GEC-68/SPP-33(ハワイ)	ICRP-9/GEC-68 /SPP-33 組織委員会	ICRP-9 運営事務局 鈴木健吾 Tel. 052-581-3241 icrp9@intergroup.co.jp http://www.plasma.engg.nagoya-u.ac.jp/icrp-9/
13, 14日	第17回破壊力学シンポジウム(京都)	日本材料学会	事務局 船越英子 Tel. 075-761-5321 jimu@jsms.jp
14日	第223回西山記念技術講座「表面処理鋼板の技術展開」(東京)	日本鉄鋼協会	育成グループ Tel. 03-3669-5933
14~16日	粉体工業展大阪2015(大阪)	日本粉体工業 技術協会	シー・エヌ・ティ Tel. 03-5297-8855 info2015@powtex.com http://www.powtex.com/osaka/
14~16日	第8回構造物の安全性・信頼性に関する国内シンポジウム(東京)	日本学術会議 (機械工学委員会)	日本機械学会 小坂雅裕・栗田圭子 Tel. 03-5360-3505 sougou2@jsme.or.jp http://www.jsme.or.jp/conference/jcossar2015/
17日	第14回機械・構造物の強度設計、安全性評価に関するシンポジウム (京都)	日本材料学会	船越英子 Tel. 075-761-5321 jimu@jsms.jp http://www.jsms.jp/index_4.html
19, 20日	第9回状態図・熱力学セミナー(東京)	(独)日本学術振興会 産学協力研究委員会 合金状態図第172委員会	東京工業大学 梶原正憲 Tel. 045-924-5635 kajihara@materia.titech.ac.jp http://j2www.materia.titech.ac.jp/seminar/(準備中)
19~21日	第36回日本熱物性シンポジウム(宮城)	日本 熱物性学会	第36回日本熱物性シンポジウム実行委員会 Tel. 022-217-5830 info@jstp2015.com http://www.jstp2015.com/
21日	第224回西山記念技術講座「表面処理鋼板の技術展開」(大阪)	日本鉄鋼協会	育成グループ Tel. 03-3669-5933
22, 23日	平成27年度教育講座「基礎から考えるプレス成形加工」コース(東京)	神奈川科学技術 アカデミー	教育研修グループ Tel. 044-819-2033 ed@newkast.or.jp http://www.newkast.or.jp/kyouiku/edu_h27/ed27_seminar_06.html
25~29日	IUMRS-ICAM2015 (Jeu, Korea)	International Union of Materials Research Societies, Materials Research Society of Korea	IUMRS-ICAM2015 Secretariat info@iumrs-icam2015.org http://www.iumrs-icam2015.org/html/
26~28日	修士・博士学生向け「第9回学生鉄鋼セミナー 製鉄・製鋼コース」 (茨城 申込締切7月31日)	日本鉄鋼協会	育成グループ Tel. 03-3669-5933
29, 30日	第51回X線分析討論会(兵庫)	日本分析化学 会 X線分析 研究懇談会	村松康司 Tel. 079-267-4929 murama@eng.u-hyogo.ac.jp http://www.nims.go.jp/xray/xbun/index.htm
29~31日	第23回鉄鋼工学アドバンスセミナー(神奈川)	日本鉄鋼協会	育成グループ Tel. 03-3669-5933
29~31日	第66回塑性加工連合講演会(福島)	日本 塑性加工学会	井上聡美 Tel. 03-3435-8301 inoue@jstp.or.jp https://ssl.jstp.jp/tr/jp08/index2.php?emmode=event_naiyou.php&ID=717&event_no=C27
2015年11月			
4~6日	修士・博士学生向け「第9回学生鉄鋼セミナー 材料コース」 (千葉 申込締切7月31日)	日本鉄鋼協会	育成グループ Tel. 03-3669-5933
9, 10日	鉄鋼工学セミナー「沸騰現象と鋼材の冷却技術専科」 (東京 申込締切10月9日)	日本鉄鋼協会	JFEスチール(株) 木島秀夫 Tel. 043-262-2918 Fax. 043-262-4730 h-kijima@jfe-steel.co.jp
10~12日	第56回高圧討論会(広島)	日本 高圧力学会	第56回高圧討論会事務局 岩佐純子 Tel. 070-5658-7626 touronkai56@highpressure.jp http://highpressure.jp/new/56forum/
13日	第67回白石記念講座「新しい世紀の形態計量学—数学と鉄鋼研究のコラボレーション—」(東京)	日本鉄鋼協会	育成グループ Tel. 03-3669-5933
18~20日	第5回 次世代ものづくり基盤技術産業展 —TECH Biz EXPO 2015— (愛知)	名古屋国際 見本市委員会	名古屋国際見本市委員会事務局 眞田絵梨 Tel. 052-735-4831 http://www.nagoya-trade-expo.jp/
19, 20日	第20回アコースティック・エミッション総合コンファレンス(愛知)	日本非破壊 検査協会	学術課 中村 Tel. 03-5609-4015 nakamura@jsndi.or.jp http://www.jsndi.jp/sciences/section/index7-3.html

開催期日	行事(開催地/詳細掲載号および頁)	主催者	問合せ・連絡先
25~27日	INCHEM TOKYO 2015(東京)	化学工学会、 日本能率協会	日本能率協会 瀧浪豪、倉品博樹 Tel. 03-3434-1988 Go_Takinami@jma.or.jp, Hiroki_Kurashina@jma.or.jp http://www.jma.or.jp/inchem/
2015年12月			
1~3日	2015年真空・表面科学合同講演会 第35回表面科学学術講演会・ 第56回真空に関する連合講演会(茨城)	日本表面科学会、 日本真空学会	日本表面科学会事務局 上村恵美子 Tel. 03-3812-0266 taikail5@sss.org http://www.sssj.org
2~4日	EcoDesign 2015(東京)	エコデザイン 学会連合、 産業技術 総合研究所	EcoDesign 2015 事務局 高橋裕香里 Tel. 03-5841-6499 ecodesign2015_secretariat@ecodenet.com http://ecodenet.com/ed2015/eng/indexeng.html
7, 8日	鉄鋼工学セミナー「材質制御専科」(東京 申込締切11月9日)	日本鉄鋼協会	日新製鋼(株) 藤原 進 Tel. 0823-25-8278 Fax. 0823-25-8277 fujiwara.s366@nissin-steel.co.jp
18~20日	TWENTY-FOURTH International Symposium on PROCESSING AND FABRICATION OF ADVANCED MATERIALS(PFAM XXIV)(大阪)	関西大学	関西大学 化学生命工学部 池田勝彦 Tel. 06-6368-0846 hikoik@kansai-u.ac.jp
2016年3月			
23~25日	第171回春季講演大会(東京)	日本鉄鋼協会	学術企画グループ Tel. 03-3669-5932
2016年4月			
13~16日	2016国際ウエルディングショー(大阪)	日本溶接協会 産報出版株式会社	産報出版(株)事業部 保谷 Tel. 03-3258-6411 hotani@sanpo-pub.co.jp http://www.weldingshow.jp
2016年5月			
30~3日	先端材料会議(THERMEC2016)(Graz, Austria)		thermec2016@tugraz.at http://www.tugraz.at/events/thermec-2016/home/
2016年6月			
12~15日	SCANMET V - 5th International Conference on Process Development in Iron and Steelmaking(Luleå, Sweden)	Swerea MEFOS	lotti.jarlebro@swerea.se http://www.scanmet.info
2016年9月			
21~23日	第172回秋季講演大会(大阪)	日本鉄鋼協会	学術企画グループ Tel. 03-3669-5932

予約期間は2015年7月31日まで!! 2015年秋刊行予定

書籍版

新版 鉄鋼材料と合金元素 日本鉄鋼協会発行

『鉄鋼と合金元素』(旧版)は、日本学術振興会製鋼第19委員会の鋼中微量元素協議会が編集し、上・下巻合わせて2,228ページ(A5判)からなる書籍として1966年に誠文堂新光社から出版されました。その後、1971年に増補版が発行されています。

内容は、文字通り鉄鋼の材質やプロセスに及ぼす合金元素の効果を集大成したもので、鉄鋼の学術、技術の発展に多大の貢献をしてきました。現在でも高頻度で利用されている非常に有益な書籍ですが、刊行してから40年以上が経過しました。この間に得られた多くの新しい知見や理論的な発展にはめざましいものがあり、旧版を大幅に改訂する必要が生じています。内容が鉄鋼にとって基本的かつ重要であり、学術的、工業的にもニーズが非常に高く、日本鉄鋼協会です掛け5年をかけて、改訂に取り組んできました。創立100周年記念事業の一環として、『新版 鉄鋼材料と合金元素』を2015年秋に刊行いたします。

特長

- ・基礎編(6章): 基礎理論を解説、最新データを網羅
- ・応用編(35章): 工業的諸特性・学術的諸現象に及ぼす合金元素効果のデータを収録、元素毎に章立て
- ・基礎編と応用編の融合
基礎編では特定の金属学的現象について元素を横断的に見たメカニズムを記述。応用編では個別合金元素毎に情報をきちんと網羅し、相互に有機的連携ができ、しかも旧版からの進歩も記述

価格と予約方法

1. 体裁・価格 ※維持会員企業が、会社購入される場合は、個人会員価格が適用されます。(送料は本会負担)

判型	頁概数	予約割引価格		一般販売開始日以降	
		個人会員価格	一般価格	個人会員価格	定価
B5判	1050頁	22,223円(税別)	44,445円(税別)	44,445円(税別)	66,667円(税別)
2. 予約割引期間 **2015年5月1日(金)~2015年7月31日(金)まで**
3. 予約方法 ※次のいずれかの方法でご予約下さい。
 - ・「鉄鋼材料と合金元素」販売専用サイトからのお申し込み(販売サイト: <http://gokin.net>)
 - ・本会WEB(<https://www.isij.or.jp>)の関連ページ掲載の「注文書」をダウンロードして、販売委託先にFAX

【販売委託先・お問合せ先】 レタープレス株式会社 東京都千代田区飯田橋3-6-6 小林ビル3階
TEL. 03-6268-9131(専用ダイヤル)、FAX. 03-6261-2708

次号目次案内

* 定期刊行物の掲載記事及び題目は変更になる場合があります。

ふえらむ Vol.20 (2015) No.8 掲載記事

Techno Scope リニア中央新幹線のテクノロジー

学術功績賞記念特別講演

金属介在物分析と製鋼プロセス	井上 亮(秋田大学)
鉄鋼のマルテンサイトと水素脆化の研究	津崎兼彰(九州大学)
外部設計型の鉄鋼材料	小関敏彦(東京大学)

入門講座

鉄鋼の日本工業規格-7

耐熱鋼(SUH)	高林宏之(大同特殊鋼(株))
----------	----------------

躍動

真空浸炭の研究を通して	森田敏之(大同特殊鋼(株))
-------------	----------------

解説

研究会成果報告-6

炭素循環製鉄による低炭素社会への貢献	加藤之貴(東京工業大学)
--------------------	--------------

「鉄と鋼」Vol.101 (2015) No.8 掲載記事

製鉄

浸透現象に着目した石炭の軟化溶融特性の新評価方法	土肥勇介、他
高温域におけるコークスガス化速度を考慮したシャフト炉操業シミュレーション	岩井祐樹、他

分析・解析

FIB-SEMシリアルセクションング法による微細析出物で装飾された転位の立体的観察	河野理香、他
-------------------------------------------	--------

相変態・材料組織

低合金TRIP鋼板の変態挙動と機械的特性に及ぼす二相域焼鈍時のMnおよびSiの分配の影響	中垣内達也、他
----------------------------------------------	---------

物理的性質

非線形弾性理論を用いた体心立方晶系金属の力学的安定性解析	垂水竜一、他
------------------------------	--------

社会・環境

除塩された水田土壌の製鋼スラグ系肥料の施用による改善(津波被災水田の製鋼スラグ系肥料による復興-1)	丸岡伸洋、他
除塩された水田環境における各種製鋼スラグ系肥料の長期溶出挙動(津波被災水田の製鋼スラグ系肥料による復興-2)	大久保道正、他

ISIJ International Vol.55 No.8 掲載記事

Fundamentals of High Temperature Processes

Effect of Mg addition on the evolution of inclusions in Al-Ca deoxidized melts T. Zhang *et al.*
 Fundamental Investigation on removal of copper from molten iron with Na₂CO₃-FeS fluxes A. Matsui *et al.*
 Wetting behavior of calcium ferrite melts on sintered MgO B. Yu *et al.*
 Separation of metal nugget from self-reduced product of coal composite stainless steel dust briquette S. Ri *et al.*
 Development of viscometer based on single sphere pulling method for application to high temperature melts M. Suzuki *et al.*
 Desulfurization of liquid steel by passing steel droplets through a slag layer M. Alba *et al.*
 Changes of aromatic CH and aliphatic CH in in-situ FT-IR spectra of bituminous coals in the thermoplastic range S.-M. Shin *et al.*

Ironmaking

Preparation of BF burden from titanomagnetite concentrate by composite agglomeration process (CAP) T. Jiang *et al.*
 Reduction disintegration behavior of lump ore in COREX shaft furnace S. Wu *et al.*
 Gaseous reduction model for sinter in consideration of calcium ferrite reaction process -unreacted-core shrinking model for six interfaces- T. Usui *et al.*
 Metal/slag separation behavior of CCA with various slag systems and effect of slag composition on the content of sulfur and phosphorus in iron nugget J.-O. Park *et al.*

Steelmaking

Simulation and application of top lance with various tilt angles in dephosphorization ladle furnace F. Liu *et al.*
 Wettability of TiN by liquid iron and steel C. Xuan *et al.*
 Difference analysis in steel cleanliness between two Rh treatment modes for sphc grade M. WANG *et al.*
 Interfacial reaction and inclusion formation at early stages of FeMnSi addition to liquid Fe P. Yan *et al.*

Casting and Solidification

Using electromagnetic levitation for continuous casting of thin aluminium alloys strip M. Pokusova *et al.*
 Characteristics of Inclusion motion and accumulation in CSP mold C. Nie *et al.*
 Large eddy simulation on flow structure in a dissipative ladle shroud and a tundish J. Zhang *et al.*
 Characteristics of MgAl₂O₄-TiN complex inclusion precipitation and growth during solidification of gcr15SiMn in ESR process L. Yang *et al.*

Instrumentation Control and System Engineering

A new catalytic combustion-type carbon monoxide gas sensor employing precious metal-free CO oxidizing catalyst A. Hosoya *et al.*
 Numerical simulation of cooling process after hot rolling with realistic residual water levels (Note) M. J. Kwon *et al.*

Chemical and Physical Analysis

Optical emission analysis of slag surface conditions and furnace atmosphere during different process stages in electric arc furnace (EAF) M. Aulá *et al.*
 Portable total reflection X-ray fluorescence spectrometer with a collodion film sample holder (Note) S. Kunimura *et al.*

Forming Processing and Thermomechanical Treatment

Influence of oxide scale formed on chrome steel surface in steam atmosphere on deformation behavior of chrome steel in hot ring compression R. Matsumoto *et al.*
 Theoretical study of rolling force and dog-bone shape using sine function model in vertical rolling Y.-M. Liu *et al.*
 Mechanism of microstructural control and mechanical properties in hot rolled plain C-Mn steel during controlled cooling C. Li *et al.*

Welding and Joining

Characterization of inclusions formed in Ti-containing steel weld metals H. J. Kim *et al.*

Surface Treatment and Corrosion

Nano structure of the rust formed on chromium bearing steel in concrete after wet and dry corrosion test T. Nishimura

Transformations and Microstructures

Deformation twinning behavior of twinning-induced plasticity steels with different carbon concentrations-Part 1 : Atomic force microscopy and electron backscatter diffraction measurements M. Koyama *et al.*

Mechanical Properties

Deformation twinning behavior of twinning-induced plasticity steels with different carbon concentrations-Part 2 : Proposal of dynamic-strain-aging-assisted deformation twinning M. Koyama *et al.*
 Influence of prior-austenite grain structure on the mechanical properties of ultrafine elongated grain structure steel processed by warm tempforming Y. Kimura *et al.*
 Role of dynamic interactions between hydrogen and strain-induced martensite transformation in hydrogen embrittlement of type 304 stainless steel Y. Yoshioka *et al.*
 Tensile behavior of ferrite-martensite dual phase steels with nano-precipitation of vanadium carbides N. Kamikawa *et al.*

会員欄

新規入会

石井 康晴	勝田 明里	小西 勇美	函師 明彦	中山 慎也	坂東 誠治	山内 祐人	Boly Pipe	Propertist
石垣 雄亮	加藤 夏輝	齊藤 丈靖	鈴木 玲人	成宮 洋輝	福倉 慎哉	山田 耕司	Co.,Ltd.	Co.,Ltd.
石原 真規	加藤 裕	笹川 薫	田中 翔太	西田 恵詞	前田 洋平	山本 浩司	Delong	Vesuvius
梅井 健司	神谷 昌憲	佐々木 洋明	谷奥 亘	西出 幸晃	松本 成史	山本 真也	(Thailand)	(Thailand)
大橋 亮介	亀山 桜里	笹目 欽吾	長岡 彬	野本 信一	丸林 直広	横井 式至	Co.,Ltd.	Co.,Ltd.
岡田 一仁	川口 拓	佐野 文彦	中野 聡志	萩野 将広	宮崎 喜昌	吉田 昌浩	GS Global	
岡部 俊明	國富 一彦	式守 崇	永野 慎一	花柴 博紀	本屋敷 洋一	和田 徹	Corporation	ご冥福をお祈り
池田 智幸	萩本 泰史	献上 剛広	鳥村 祐太	中巳出 卓馬	馬場園 航	森 英喜	KI-Ecotech	申し上げます。
池田 正一	柿谷 明宏	後藤 勇三	酒道 武浩	中村 暁	原 彰寛	安田 順	Co.,Ltd.	設楽 正雄

平成26年度一般社団法人日本鉄鋼協会事業報告・収支決算 (平成26年3月1日～平成27年2月28日) および 平成27年度一般社団法人日本鉄鋼協会事業計画・収支予算 (平成27年3月1日～平成28年2月29日)

平成27年4月24日に開催されました一般社団法人日本鉄鋼協会定時社員総会において、標記報告等が承認されました。以下にその概要をお知らせします。

I. 平成26年度一般社団法人日本鉄鋼協会事業報告・ 収支決算 (H26.3.1～H27.2.28)

平成26年度は、平成25年度を初年度とする中期財務計画の2年目の年であった。活動内容としては、(1) 協会基本活動の活性化、(2) 鉄鋼の学術・技術の活性化、(3) 人材育成、(4) 他学協会との連携強化、(5) 政府の科学技術・産業技術政策への対応、(6) 内外へのプレゼンスの強化、等の実施に重点を置いた事業活動を展開した。

1. 協会基本活動の活性化

会員数、講演大会発表件数、論文誌への投稿論文数の増大を学協会の基本活動として重点を置いている。

会員数はリーマンショック後の景気変動の影響も受け、微減傾向が続いている。平成26年度末時点で個人会員総数で8,800名(前年度末8,927名)、うち正会員7,792名(前年度末7,834名)、また維持会員166社(前年度末161社)である。また、60歳以上の会員の増加を目的に21年から導入されたシニア会員制度は168名(前年度末163名)が活用している。

平成26年度の春季大会は東京工業大学で、秋季講演大会は名古屋大学で開催された。講演大会での研究発表件数は一般講演春季大会342件、秋季大会383件、討論会春季大会43件、秋季大会17件、国際セッション春季大会2テーマ21件、秋季大会1テーマ9件で合計春季大会406件、秋季大会409件であった。登録参加者は、春季大会1,415名、秋季大会1,328名であった。学生ポスターセッションの発表は春季73件、秋季86件であった。

論文の状況は、1～12月の合計で、投稿論文数は「鉄と鋼」139(156:前年)件、「ISIJ Int.」774(765)件、同様に掲載論文数は「鉄と鋼」176(90)件、「ISIJ Int.」398(311)件であり、特に「鉄と鋼」は第100巻記念特集号ということで掲載数が増加した。また「ISIJ Int.」も投稿数、掲載数とも増加傾向にある。

2. 鉄鋼の学術・技術の活性化

研究会Ⅰとしては「固液共存体の挙動制御によるマクロ偏析低減」、「熱間圧延ロール」、「鉄鋼インフォマティクス」、「小型中性子源による鉄鋼組織解析法」の4件、研究会Ⅱとしては「円周ガイド波による配管減肉検出技術Ⅱ」、「鉄鋼スラグ中フリー MgO分析法の開発と標準化」、「スケールの伝熱特性支配因子調査」の3件が新規に着手された。また、2件の産発プロジェクト、12件の研究会については継続研究を実施した。

前年度に採択決定した鉄鋼研究振興助成(35件)について助成を行った。

平成27年度に向けて産発プロジェクト1件、研究会Ⅰを5件、研究会Ⅱを1件、鉄鋼研究振興助成 36件の採択を行った。

3. 人材育成

企業人材育成として、40回目となる蔵王での鉄鋼工学セミナー(176名参加)が開催されたほか、鉄鋼工学セミナー専科については凝固、腐食・表面処理、精錬プロセス解析、強化機構、水素脆化、材質制御、の6テーマ、22回目となる鉄鋼工学アドバンスセミナー(30名参加)が開催された。

学生育成として、企業経営幹部による大学特別講義は11大学で実施された。また、従来の経済産業省による大学特別講義に企業講師を加え、新たに始めた鉄鋼技術特別講義も12大学で実施された。学生鉄鋼セミナーは2コースが実施され32名の参加、修士学生向け鉄鋼工学概論セミナーは21名、学部学生向け最先端鉄鋼体験セミナーは京浜22名、和歌山7名、八幡7名、呉29名の参加であった。学部学生の製鉄所見学は15回実施され、総計580名が参加した。

西山記念技術講座では、「日本の鉄鋼の発展を支えてきた製鉄・製鋼技術」及び「材料設計を先導する物理解析技術・計算科学」をテーマに開催した。また、白石記念講座は「枯渇する金属資源に『今』我々ができること・すべきこと」をテーマに開催した。

4. 他学協会等との連携強化

日本金属学会との講演大会相互聴講を実施した。また日本鉄鋼連盟をはじめとして鉄鋼環境基金、鉄鋼スラグ協会、日本鋼構造協会と「鉄鋼関連助成事業連絡会」を2回開催した。さらに日本鋼構造協会と「社会インフラ分野技術開発課題検討懇談会」を開催した。

5. 政府の科学技術政策・産業技術政策への対応

日本鉄鋼協会が提案した科学技術振興機構の産学共創基礎基盤技術開発制度「ヘテロ構造制御金属材料プロジェクト」の支援、政府の未来開拓研究制度での構造材料研究について必要な支援を行った。

6. 内外へのプレゼンスの強化

- 平成27年2月3日に本会創立100周年記念式典を経団連合館にて開催した。式典後の祝賀会には、安倍晋三内閣総理大臣、下村博文文部科学大臣、宮沢洋一経済産業大臣に来賓として出席いただき、祝辞をいただいた。また式典には、藤井基之文部科学副大臣、高木洋介経済産業副大臣、久間和生内閣府総合科学技術・イノベーション会議議員から祝辞をいただいた。
- 創立100周年を記念して「第5版鉄鋼便覧」を発刊した。さらに「新版 鉄鋼材料と合金元素」の編集作業を進めるとともに、「鉄と鋼」第100巻記念特集号を発刊した。
- 春季講演大会において経営トップ特別講演としてJFEスチール(株)林田代表取締役社長が「鉄鋼業の世代交代とJFEスチールの取り組み」と題する講演を実施した。
- 高温酸化・高温腐食国際シンポジウム2014(ISHOC-14)、第4回国際鉄鋼科学シンポジウム(ISSS 2014)を開催し、国際的な情報発信、国際交流を深めた。またAIST-ISIJ Oxygen Steelmaking Technical Exchange を実施した。
- 平成27年1月から「ふえらむ」の電子化を実施した。

II. 平成26年度決算
貸借対照表

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	129,312,273	158,443,060	△ 29,130,787
未収会費	1,414,000	1,456,000	△ 42,000
未収金	6,154,252	3,412,331	2,741,921
仮払金	151,507	80,456	71,051
前払金	7,690,243	6,650,754	1,039,489
立替金	23,300	0	23,300
有価証券	40,934,401	40,917,959	16,442
棚卸資産	28,016,811	26,601,916	1,413,895
仕掛品	0	5,379,258	△ 5,379,258
流動資産合計	213,695,787	242,941,734	△ 29,245,947
2. 固定資産			
定期預金	11,599,912	11,599,912	0
基本財産合計	11,599,912	11,599,912	0
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	199,599,596	228,546,860	△ 28,947,264
特別資金	499,122,445	478,334,520	20,787,925
鉄鋼研究振興資金	897,831,576	898,064,989	△ 233,313
学会部門事業積立資産	48,190,875	53,150,875	△ 5,000,000
生産技術部門事業積立資産	2,268,598	14,395,803	△ 12,127,205
国際会議支援積立資産	8,733,493	5,311,385	3,422,108
事業強化積立資産	38,433,624	50,076,379	△ 11,642,755
記念出版事業積立資産	19,684,577	20,493,940	△ 809,363
創立100周年事業積立資産	1,500,000	4,000,000	△ 2,500,000
特定資産合計	1,715,324,784	1,752,374,651	△ 37,049,867
(3) その他固定資産			
仕器備品	1,194,885	1,639,177	△ 444,292
ソフトウェア	5,953,814	4,920,811	1,033,003
敷金	8,486,320	8,486,320	0
その他固定資産合計	15,635,019	15,046,308	588,711
固定資産合計	1,742,559,715	1,779,020,871	△ 36,461,156
資産合計	1,956,255,502	2,021,962,605	△ 65,707,103
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	11,065,842	12,004,486	△ 938,644
未払消費税等	12,472,700	4,478,800	7,993,900
前受金	109,590,846	152,360,379	△ 42,809,533
預り金	1,358,279	1,497,100	△ 138,821
仮受金	92,520	448,420	△ 355,900
賞与引当金	8,200,000	8,000,000	200,000
流動負債合計	142,740,187	178,789,185	△ 36,048,998
2. 固定負債			
退職給付引当金	199,599,596	228,546,860	△ 28,947,264
固定負債合計	199,599,596	228,546,860	△ 28,947,264
負債合計	342,339,783	407,336,045	△ 64,996,262
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
特別資金	324,030,000	324,030,000	0
鉄鋼研究振興資金	635,000,000	635,000,000	0
指定正味財産合計	959,030,000	959,030,000	0
2. 一般正味財産			
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(959,030,000)	(959,030,000)	(0)
一般正味財産合計	654,885,719	655,596,560	△ 710,841
(うち基本財産への充当額)	(11,599,912)	(11,599,912)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(556,695,188)	(564,797,791)	(△ 8,102,603)
正味財産合計	1,613,915,719	1,614,626,560	△ 710,841
負債及び正味財産合計	1,956,255,502	2,021,962,605	△ 65,707,103

実施事業資産は、以下のとおりである。
特別資金 324,030,000
鉄鋼研究振興資金 754,175,980
合計 1,078,205,980

正味財産増減計算書

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 前期正味財産の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益	14,853,847	18,248,899	△ 3,665,052
仕入費引当金	498,600	515,900	△ 15,300
受取入金	76,234,743	76,234,743	259,139
受取個人会費	430,348,332	4,006,688	4,006,688
事業収益	54,053,247	67,716,975	△ 13,663,728
受取会費	4,330,954	4,330,954	0
受取参加料	49,506,422	38,832,715	10,673,707
受取会費	4,132,366	2,652,395	1,479,971
受取その他事業収益	1,740,359	1,552,054	188,305
受取補助金等	550,600	7,849,689	△ 7,299,089
受取寄付金	6,400,000	1,145,868	5,254,132
有価証券譲渡益	120,000	0	120,000
雑収益	55,702	48,307	7,395
受取利息所得	131,111	475,473	△ 344,362
雑収益	288,324	67,873	220,451
経常収益合計	716,892,274	637,962,683	78,929,591
(2) 経常費用			
給与手当等	141,416,859	148,719,597	△ 8,302,738
退職給付費用	12,847,980	10,079,300	2,768,680
事務管理費用	25,296,581	25,801,777	△ 515,196
研究費	169,470,000	191,384,435	△ 21,914,435
経費	47,559,323	48,406,803	△ 847,480
通信運搬費	16,630,721	15,846,513	784,208
減価償却費	1,917,308	2,622,857	△ 705,549
雑費	379,817	349,435	30,382
消耗品費	5,510,985	5,533,227	△ 22,242
印刷製本費	100,150,354	60,238,164	39,912,190
表彰・寄附費	4,353,529	3,410,623	942,906
期首仕掛品棚卸高	28,094,171	28,094,171	0
期末仕掛品棚卸高	5,370,238	△ 26,611,910	△ 32,042,148
伊勢湾	1,855,680	1,856,831	△ 1,151
雑費	2,932,964	2,914,525	18,439
租税公課	14,505,717	19,969,473	△ 5,463,756
リース料	2,039,475	2,072,800	△ 33,325
委託費	2,426,914	2,474,877	△ 47,963
手数料	916,059	1,120,992	△ 204,933
印刷製本費	6,045,477	5,284,718	760,759
研究開発研究費	8,979,069	8,151,825	827,244
雑費	10,311,801	18,497,369	△ 8,185,568
経常費用合計	675,531,415	641,254,919	34,276,496
管理費	19,141,754	17,976,626	1,165,128
印刷製本費	2,429,556	643,726	1,785,830
福利厚生費	2,115,751	314,085	1,801,666
事務管理費	3,526,675	3,434,707	91,968
経費	1,217,806	1,217,806	0
通信運搬費	1,881,146	1,537,537	343,609
減価償却費	1,258,931	310,987	947,944
雑費	1,377,009	33,628	1,343,381
印刷製本費	522,129	731,181	△ 209,052
福利厚生費	275,388	154,353	121,035
事務管理費	3,565,207	4,330,943	△ 765,736
租税公課	3,108,815	97,002	3,011,813
委託費	3,919,098	7,263,621	△ 3,344,523
手数料	9,590	2,931	6,659
印刷製本費	8,500	10,000	△ 1,500
雑費	2,124,337	596,832	1,527,505
管理費合計	47,209,100	47,859,048	△ 649,948
経常増減合計	716,683,174	590,002,635	126,680,539
特別増減の部	128,400	230,000	△ 101,600
特別増減の部	77,539,241	△ 48,188,292	125,727,533
経常増減合計	794,240,815	671,814,343	122,426,472
前期正味財産の部	1,613,915,719	1,614,626,560	△ 710,841
正味財産増減合計	1,614,626,560	1,614,626,560	0
前期正味財産の部	654,885,719	655,596,560	△ 710,841
前期正味財産の部	654,885,719	655,596,560	△ 710,841
正味財産合計	1,613,915,719	1,614,626,560	△ 710,841
負債及び正味財産合計	1,956,255,502	2,021,962,605	△ 65,707,103

Ⅲ. 平成27年度一般社団法人日本鉄鋼協会事業計画・ 収支予算 (H27.3.1～H28.2.29)

活動方針

政府の経済金融政策や為替効果さらには需要産業の回復もあり、我が国の粗鋼生産量は平成26年計では1億1,067万トンで、前年比0.1%増となり、堅調な水準で推移している。しかしながら、今後の国内経済も見通しが不透明であるばかりでなく、中期的には世界的な過剰能力が存在する中で新たな鉄鋼生産能力が見込まれ、世界的な鉄鋼大競争時代を迎えている。中国、韓国等新興国の追い上げは厳しさを増し、生産能力のみならず、品質面、技術面でも向上が著しく、世界のトップを走る我が国としては産官学を挙げてその地位を確保することが大きな課題である。最近、国の技術政策の中で構造材料の重要性が認識され、新たなプロジェクトの発足等これまでにない歩みを見せていることは心強い限りであるが、こうした流れが継続するよう鉄鋼協会として活動する必要がある。

大学では、足の長い構造材料研究に対する危機感が共有される中、鉄鋼研究のベースを確保することは喫緊の課題である。また、大学での人材育成への産側のニーズは高いが、大学教育の流れの中できめ細かい鉄鋼技術教育を期待することが困難な状況となっている。こうした状況の中、産学が問題を共有し、鉄鋼に係る新技術開発、人材育成、イノベーションを可能とする社会システムの改革を促進するべく鉄鋼協会の活動を進める。

このため、鉄鋼協会の活動をそれ自体で完結することなく、協会の伝統である産学連携活動をベースとして文部科学省、経済産業省等の政策主体、大学・独法等の研究教育機関、関連団体、企業活動との連携を深め、コストパフォーマンスの高い協会活動を指向する。

これらを踏まえ、平成27年度の本会活動としては、(1) 協会基本活動の活性化、(2) 鉄鋼の学術・技術の活性化、(3) 若手企業技術者や大学生の人材育成などこれまでの施策を効率的、重点的に進めると共に、(4) 他学協会・団体との連携強化、(5) 政府の科学技術・産業技術政策への対応、(6) 内外へのプレゼンスの強化等の実施に重点をおいた事業活動を展開する。

具体的な施策

1. 協会基本活動の活性化

学会部門、生産技術部門および関係委員会等の連携・協調のもと、会員数、講演大会発表件数、論文誌への投稿数の増加といった学協会としての基本的活動の強化・充実を図る。また会員サービスの向上とともに協会活動を支える協会の管理・情報システムの改善を図る。

2. 鉄鋼の学術・技術の活性化

- 1) 学会部門と生産技術部門との連携強化をベースとして、新しい研究課題の発掘・発信を図る。
- 2) 学会部門ではフォーラム活動や研究会の充実、理学等も含めた新たな学術シーズの取り込みを進める。
- 3) 生産技術部門では分野別の技術部会活動を中心に、機動的、弾力的運営を行い、関連境界領域での課題にも取り組む。

3. 人材育成

- 1) 平成23年度から開始した「修士学生向け鉄鋼工学概論セミナー」、「学部学生向け最先端鉄鋼体験セミナー」、「企業経営幹部による大学特別講義」、平成26年度から開始した企業技術系幹部による「鉄鋼技術特別講義」の円滑な推進・更なる充実を図る。
- 2) 企業技術者の育成事業である「鉄鋼工学セミナー・専科」、「アドバンストセミナー」は企業の人材ニーズに対応した展開を図る。また、鉄鋼工学セミナーを活用した大学教育の定点観測調査を継続する。
- 3) 西山記念技術講座・白石記念講座等はニーズを踏まえたタイムリーな企画を進め、内容充実を図る。
- 4) JABEE（日本技術者教育認定機構）と連携し、高等教育機関等の教育プログラムの改善・向上に貢献する。

4. 他学協会等との連携強化

- 1) 日本鉄鋼連盟、鉄鋼環境基金、日本鋼構造協会、鐵鋼スラグ協会、JRCM等、関係団体と研究助成、人材育成等の面で連携強化のための協議を継続・推進し、鉄鋼のプレゼンス向上を含め具体的な成果につなげる。
- 2) 日本金属学会、日本熱処理技術協会等、関係の学協会との協力推進について協議を進める。

5. 政府の科学技術・産業技術政策への対応

- 1) 政府で推進している構造材料技術開発プロジェクトの円滑な推進に向けて協力する。
- 2) 科学技術振興機構（JST）の産学共創基礎基盤研究「ヘテロ構造制御金属材料プロジェクト」の開発については技術テーマの提案組織の一員として積極的に協力を行い、同プロジェクトの成功を期する。
- 3) 材料戦略委員会活動、日本学術会議とも連携し、材料分野の学術・技術政策の充実を図る。

6. 内外へのプレゼンスの強化

- 1) 講演大会時の経営トップ特別講演を進めるとともに大会を活用したプレゼンス向上策を検討する。
- 2) 創立100周年記念国際会議として10月に「アジアスチール2015」を開催すると共に、「新版 鉄鋼材料と合金元素」を発刊する。
- 3) 協会に蓄積する各種研究・技術情報の電子化を更に推進する。

